

踊り



その時その時に、求め与えられた仕事を力いっぱい頑張る姿、こんな美しいものが他にあるでしょうか。

小学校の運動会や町民体育祭には、婦人会の皆さんが踊りに一所懸命頑張りました。

ときどき車で回ってみますとこちらの青年館でもあちらの公民館でも、いつまでも明りがともっていて、踊りの練習をしてくださっていました。

皆さんの大きな笑い声が聞こえる、本当に楽しげな集い。ある部落へ伺って

ましたら、踊りに使おうちに、みんなで色塗りをしているところでした。隣の部落では、ペンキ屋さんが応援してくださったとか。

婦人会活動に想う

町婦人会長 平山 芳子 (北清水)

ある夜、大総小学校の体育館での踊りの練習会にお邪魔してみますと稲刈りで疲れた様子も見せずに、楽しげに高蝶先生の指導を受け、皆さんが頑張っているところでした。

た。大勢の方が参加してくださったの練習に、唯々頭の下がる思いでした。

また、鳥喰上・新田の大漁節の囃子と、南川岸の民謡クラブの皆さん方の唄の合同練習のため、上・新田青年館にお邪魔した際のなごやかだったこと。

今年、復活した婦人会の皆さんも入った大きな輪になって、横芝町婦人会の踊りができました。運動会・町民体育祭を通しての皆さんとのふれあいは、何よりも尊いものだったと心から感謝申し上げます。

いろいろとご協力をいただき、ありがとうございます。

横芝の碑

130

町文化財審議会委員

小沢春光さん寄稿

地域別に見る 庚申様のあらまし (中)

【横芝地域】

横芝地域の庚申様には、山王権現が主尊と思われ、七百年ほど昔の古川の庚申様のほか、栗山庚申前の宝永四年(一七〇七)と享和三年(一七七八)、上町の安永七年(一七七八)、大六天境内の安永九年(一七八〇)、

栗山川畔の寛政八年(一七九三)、さらに栗山庚申前、大六天境内、鳥喰下、上町の各々の寛政十二年(一八〇〇)庚申年)などがあります。なお、鳥喰下には刻銘が磨滅して年代不詳の一基があります。

この地域の庚申様もあまり移

遷されたようすはありません。七十歳から八十歳代の方にお聞きしても「さあ、昔からあの辺に建っていたようだ」というご返事だけです。

庚申様はほとんど青面金剛像で、その図柄も同じ姿です。ただ変っているのは、栗山庚申前の宝永四年建立の庚申像の頭上に、虫状の動物が天に向かって刻まれていることです。この姿については、光町橋場宝永五年)・北清水(宝永四年)各々と共通する図柄であることは、既にご紹介申し上げてある

俳壇



採点を持ち帰りたる夜長かな 海保 きみ

鳥渡る庭師の鉢の音聞こえ 鈴木 南知

畦道のことなる勾ひ秋の風 鈴木 草庵

駄句ばかり連ね夜長の灯の下に 津田 若菜

芥寄せ人疎らなる秋の浜 若梅あやめ

桐の実の房青々と土蔵古り 海保恵保子

鬼子母神子を抱き石榴笑ひをり

とおりです。

庚申年に多い建立

また、横芝地域の庚申様は寛政十二年の庚申(かのえさる)の年に建てられたものが多く、栗山庚申前・鳥喰下・大六天境内・上町の各々に建っています。

最近、栗山庚申前周辺の奇特な方々が、庚申日などに集まってお茶飲み会を開いているようですが、庚申年に建立された庚申様が多い割には、庚申待夜(こうしんたいや)徹夜で庚申様を祭る講)などというところは「昔ばなし」としても聞くことができません。

それでも、栗山川畔の庚申様には、「この庚申様の川上半里(二km)には昔から水に溺れた

者はいない。これは庚申様のご加護によるものである。そのくらいだから、多古の殿様もその前を通る時は乗物から降りられた」という伝説もあります。

○写真は栗山庚申前の庚申様です。向かって右側の庚申様が宝永四年建立のもので、よく見ると頭上の左側あたりから、長く天に伸びようとする蛇(三尸虫ともいわれる)が見えます。この形が光町・北清水の庚申様にも刻まれています。そして、古老が昔の街道筋と呼んでいる道路添に建っているのです。(北清水は移遷されています)

